



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月4日

東

上場会社名 佐藤食品工業株式会社  
 コード番号 2814  
 代表者（役職名） 代表取締役社長  
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

URL <https://www.sato-foods.co.jp>

(氏名) 上田 正博

(氏名) 那須 智

配当支払開始予定日

(TEL) 0568-77-7316

2022年12月2日

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,789	5.0	258	△29.9	319	△24.5	211	△37.0
2022年3月期第2四半期	2,656	—	368	157.0	423	111.2	336	—

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	50.22	49.73
2022年3月期第2四半期	53.68	53.36

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	百万円 20,398	百万円 18,927	% 92.6
2022年3月期	20,317	18,740	92.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 18,886百万円 2022年3月期 18,704百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 35.00
2023年3月期	—	15.00			
2023年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	1.0	457	△41.6	590	△32.7	470	△35.4	111.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	9,326,460株	2022年3月期	9,326,460株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	5,111,412株	2022年3月期	5,111,412株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	4,215,048株	2022年3月期2Q	6,263,187株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」といいます)の新たな変異株の流行により新規感染者数が急増したものの、これまでのような行動制限策が講じられなかったことから、緩やかに社会経済活動の正常化が進み、個人消費にも持ち直しの動きが見られました。一方で、本感染症の最終的な収束の見通しが困難であることや、急速に進行した円安、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による物価上昇などから、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。海外経済につきましては、一部の国では本感染症の規制を撤廃する動きが見られるなど、社会経済活動の正常化が進むものの、新たな変異株への懸念や、金融資本市場の変動による景気の下振れリスク、長期化するロシア・ウクライナ情勢など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社といたしましては、顧客、取引先及び従業員の安全確保を最優先に、一時的な操業停止など本感染症の感染拡大に伴うリスクを避けるため、マスク着用や手洗い消毒などの、基本的な感染拡大防止対策を講じつつ、国内の感染状況に応じて営業活動や来客対応の制限などの対策を行うとともに、変化、多様化する消費者ニーズやエネルギーコスト及び原材料コストの動向に注視しながら事業活動を継続してまいりました。

このような状況のもと、当社の当第2四半期累計期間における売上実績は、前年同四半期累計期間から茶エキスを中心に緩やかな回復基調で推移しました。

茶エキスにつきましては、玄米茶エキス・ウーロン茶エキス等が減少したものの、ほうじ茶エキス・緑茶エキス等が増加したため、売上高は1,128百万円(対前年同四半期比8.9%増)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末ソース等が減少したものの、粉末鰹節・粉末魚介等が増加したため、売上高は890百万円(同0.3%増)となりました。

植物エキスにつきましては、果実エキス等が増加したため、売上高は368百万円(同9.6%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、鰹節エキス等が減少したものの、椎茸エキスが増加したため、売上高は343百万円(同0.3%増)となりました。

粉末酒につきましては、ラムタイプ等が減少したものの、ワインタイプ等が増加したため、売上高は54百万円(同8.3%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,789百万円(同5.0%増)となり、前年同四半期に比べ132百万円増加しました。

利益面につきましては、売上原価の増加により営業利益は258百万円(同29.9%減)、経常利益は319百万円(同24.5%減)となりました。また、法人税等59百万円(同33.5%減)を計上したため、四半期純利益は211百万円(同37.0%減)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は20,398百万円となり、前事業年度末に比べ80百万円増加しました。

流動資産については12,024百万円となり、前事業年度末に比べ130百万円増加しました。主に、売上債権が55百万円減少したものの、現金及び預金が126百万円増加したことによりです。

固定資産については8,374百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円減少しました。主に、有形固定資産が22百万円増加したものの、投資有価証券が83百万円減少したことによりです。

負債合計は1,471百万円となり、前事業年度末に比べ106百万円減少しました。

流動負債については1,400百万円となり、前事業年度末に比べ106百万円減少しました。主に、賞与引当金が15百万円増加したものの、未払金が115百万円減少したことによりです。

固定負債については70百万円となり、前事業年度末から変動はありませんでした。

純資産合計は18,927百万円となり、前事業年度末に比べ187百万円増加しました。主に、配当金の支出により84百万円減少したものの、四半期純利益211百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が54百万円増加したことによりです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ126百万円増加し、9,309百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、397百万円(前年同四半期は401百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益270百万円及び、減価償却費143百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、186百万円(前年同四半期は111百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出261百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、84百万円(前年同四半期は93百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額84百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年8月5日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期業績予想値の修正に関するお知らせ」のとおり、2023年3月期第2四半期の業績予想を修正しておりますが、2022年5月13日に公表いたしました通期業績予想は据え置いております。詳細につきましては、2022年8月5日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があるため、今後、業績予想の修正が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,182,619	9,309,598
受取手形及び売掛金	1,239,729	1,184,566
製品	686,690	722,063
仕掛品	429,550	354,744
原材料及び貯蔵品	307,125	352,370
その他	48,546	101,730
貸倒引当金	—	△365
流動資産合計	11,894,261	12,024,708
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,460,639	1,415,634
機械及び装置(純額)	685,387	652,607
土地	2,558,304	2,558,304
建設仮勘定	149,377	214,604
その他(純額)	101,509	137,012
有形固定資産合計	4,955,217	4,978,163
無形固定資産		
投資その他の資産	40,028	34,879
投資有価証券	3,007,182	2,924,040
破産更生債権等	1,409,286	1,408,337
繰延税金資産	138,410	134,437
その他	282,829	302,658
貸倒引当金	△1,409,286	△1,408,337
投資その他の資産合計	3,428,422	3,361,136
固定資産合計	8,423,668	8,374,179
資産合計	20,317,930	20,398,887

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	282,909	276,626
短期借入金	670,000	670,000
未払金	208,089	92,388
未払法人税等	79,717	89,845
賞与引当金	110,000	125,000
その他	156,718	147,067
流動負債合計	1,507,435	1,400,927
固定負債		
役員退職慰労引当金	14,580	14,580
資産除去債務	55,649	55,649
固定負債合計	70,229	70,229
負債合計	1,577,664	1,471,156
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,439,113	4,439,113
利益剰余金	13,277,384	13,404,748
自己株式	△3,406,859	△3,406,859
株主資本合計	17,981,914	18,109,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	722,724	777,241
評価・換算差額等合計	722,724	777,241
新株予約権	35,626	41,212
純資産合計	18,740,265	18,927,730
負債純資産合計	20,317,930	20,398,887

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,656,801	2,789,002
売上原価	1,858,068	2,095,560
売上総利益	798,733	693,441
販売費及び一般管理費	430,178	435,102
営業利益	368,554	258,339
営業外収益		
受取利息	509	567
有価証券利息	196	98
受取配当金	51,394	59,722
貸倒引当金戻入額	—	47
その他	4,883	3,470
営業外収益合計	56,983	63,906
営業外費用		
支払利息	1,851	1,850
投資有価証券償還損	—	536
その他	227	60
営業外費用合計	2,079	2,447
経常利益	423,459	319,798
特別利益		
受取損害賠償金	3,000	491
特別利益合計	3,000	491
特別損失		
損害賠償金	—	3,113
固定資産除却損	1,345	290
投資有価証券評価損	—	46,044
特別損失合計	1,345	49,448
税引前四半期純利益	425,114	270,841
法人税等	88,932	59,177
四半期純利益	336,182	211,664



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	425,114	270,841
減価償却費	139,696	143,882
貸倒引当金の増減額(△は減少)	826	△583
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,000	15,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,550	—
保険解約損益(△は益)	—	△450
受取利息及び受取配当金	△52,100	△60,388
支払利息	1,851	1,850
有形固定資産除却損	1,345	290
投資有価証券評価損益(△は益)	—	46,044
投資有価証券償還損益(△は益)	—	536
受取損害賠償金	△3,000	△491
損害賠償金	—	3,113
売上債権の増減額(△は増加)	150,287	55,162
棚卸資産の増減額(△は増加)	△133,632	△5,892
未収消費税等の増減額(△は増加)	18,570	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△44,087	△53,304
仕入債務の増減額(△は減少)	△66,405	△6,282
未払金の増減額(△は減少)	△18,151	△17,912
未払費用の増減額(△は減少)	6,755	6,799
未払消費税等の増減額(△は減少)	24,548	△16,116
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△826	948
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△12,646	△1,932
その他	6,869	5,585
小計	457,466	386,698
利息及び配当金の受取額	52,146	60,533
利息の支払額	△1,830	△1,848
損害賠償金の受取額	—	491
損害賠償金の支払額	—	△1,309
法人税等の支払額	△106,452	△47,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,330	397,114

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△88,077	△261,687
投資有価証券の取得による支出	△4,978	△4,975
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
長期前払費用の取得による支出	△4,572	△7,857
その他の支出	△13,372	△12,625
その他の収入	—	1,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,001	△186,041
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△174	—
自己株式の売却による収入	7	—
配当金の支払額	△93,802	△84,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,969	△84,095
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	196,359	126,978
現金及び現金同等物の期首残高	8,747,349	9,182,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,943,709	9,309,598

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社は、食品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,161,677	△0.4
粉末天然調味料	816,685	△6.0
植物エキス	388,190	10.9
液体天然調味料	331,008	△0.1
粉末酒	47,380	△11.6
合計	2,744,942	△0.9

(注)金額は、販売価格によっております。

## ②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,128,606	8.9
粉末天然調味料	890,854	0.3
植物エキス	368,262	9.6
液体天然調味料	343,580	0.3
粉末酒	54,815	8.3
その他	2,883	4.9
合計	2,789,002	5.0

(注) 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
三菱商事ライフサイエンス(株)	332,786	12.5	302,084	10.8
(株)伊藤園	247,223	9.3	292,525	10.5
鳳商事(株)	234,077	8.8	282,721	10.1